

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月25日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-3282-0009

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	252,103	3.0	41,409	10.9	39,203	20.3	23,323	51.1
24年12月期第3四半期	244,691	△6.7	37,343	△3.0	32,581	△15.4	15,440	△31.9

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 36,768百万円 (100.4%) 24年12月期第3四半期 18,348百万円 (16.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	42.61	42.58
24年12月期第3四半期	28.14	28.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	691,278	580,362	83.8
24年12月期	679,342	555,898	81.7

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 579,057百万円 24年12月期 554,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	-	10.00	-	10.00	20.00
25年12月期	-	12.50	-	-	-
25年12月期（予想）	-	-	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	339,000	1.8	51,000	△3.6	48,000	△2.0	28,000	15.7	51.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年12月期3Q	576,483,555株	24年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	29,109,689株	24年12月期	29,062,630株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年12月期3Q	547,402,840株	24年12月期3Q	548,757,014株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から9月30日までの9か月間）の売上高は2,521億円（前年同期比3.0%増）、営業利益は414億円（同10.9%増）、経常利益は392億円（同20.3%増）、四半期純利益は233億円（同51.1%増）となりました。

- ◎ 売上高及び営業利益は、国内の医療用医薬品の堅調な推移やProStrakan社の順調な伸長に加えて、為替の円安進行もあり増収増益となりました。
- ◎ 経常利益は、営業利益の増益のほか、為替差益の計上や持分法による投資損失の減少等があり、四半期純利益は、関係会社株式売却益等の特別利益の計上があり、それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（注）第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、添付資料8ページ「3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報等」をご覧ください。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、1,927億円（前年同期比1.7%増）となり、営業利益は369億円（同5.3%増）となりました。

- ◎ 国内の医療用医薬品は、昨年4月に実施された薬価基準引下げの影響がありましたが、売上高は前年同期を上回りました。
 - ・主力品である腎性貧血治療剤「ネスプ」は昨年12月発売の液量統一品の出荷反動等により、売上高が前年同期を下回りました。抗アレルギー点眼剤「バタノール」は花粉飛散量が多かったため大幅に増加しましたが、抗アレルギー剤「アレロック」は後発医薬品の影響もあり前年同期を下回りました。また、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」も後発医薬品の影響等により売上高が前年同期を下回りました。
 - ・二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤「ロミプレート」、経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤「フェントス」等は順調に伸長しました。
 - ・世界初のアデノシンA2A受容体拮抗薬であるパーキンソン病治療剤「ノウリアスト」を5月に発売しました。
 - ・2型糖尿病治療剤「オングリザ」を7月に発売しました。
- ◎ 医薬品の輸出及び技術収入は、輸出が堅調に推移したものの、協和キリン富士フィルムバイオロジクス(株)からのバイオシミラー開発に係る技術収入等の減少により、売上高は大幅に減少しました。
- ◎ ProStrakan社は、癌疼痛治療剤「Abstral」等の主力製品が順調に伸長し、売上高は167億円（前年同期比44.6%増）、営業利益（のれん等償却後）は1億円（前年同期は25億円の営業損失）となりました。

② 研究開発

がん領域

（国内）

- ・抗悪性腫瘍酵素製剤「ロイナーゼ」の筋肉内投与に係る用法・用量追加の承認を2月に取得しました。
- ・抗悪性腫瘍剤「ダカルバジン」の褐色細胞腫の効能・効果追加の承認を3月に取得しました。
- ・抗悪性腫瘍剤「5-FU注」の睪がんにおける効能・効果及び用法・用量追加の承認申請を5月に行いました。
- ・持続型G-C S F 製剤KR N125のがん化学療法による発熱性好中球減少症を対象とした承認申請を6月に行いました。
- ・二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」の副甲状腺癌に伴う高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は再発の原発性副甲状腺機能亢進症に伴う高カルシウム血症の効能・効果追加の承認申請を6月に行いました。
- ・ヒト化抗CCR4モノクローナル抗体「ポテリジオ」の初発未治療のCCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫、再発又は難治性のCCR4陽性の末梢性T細胞リンパ腫及び皮膚T細胞リンパ腫における効能・効果及び用法・用量追加の承認申請を7月に行いました。
- ・癌疼痛治療剤「アブストラル」の承認を9月に取得しました。

腎領域

（国内）

- ・腎性貧血治療剤「ネスプ」の小児適応追加及び5 μ g製剤の承認を9月に取得しました。

（海外）

- ・中国において二次性副甲状腺機能亢進症治療剤Cinacalcet Hydrochloride（日本製品名「レグパラ」）を承認申請中です（平成23年10月申請）。
- ・中国において透析施行中の腎性貧血を対象としたKR N321（日本製品名「ネスプ」）の第Ⅲ相臨床試験を4月に開始しました。

免疫・アレルギー領域

（国内）

- ・尋常性乾癬を対象としたKH K4827の第Ⅲ相臨床試験を3月に開始しました。

中枢神経系領域

(国内)

- ・血栓溶解剤「アクチバシン」の虚血性脳血管障害に対する治療可能時間を発症後3時間以内から発症後4.5時間以内へ延長する一部変更の承認を2月に取得しました。
- ・パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」の承認を3月に取得し、5月に発売しました。
- ・抗てんかん剤「トピナ」の小児適応追加と新剤型(細粒剤)追加の2点について、承認申請中です(平成24年12月申請)。

その他領域

(国内)

- ・合成ペニシリン製剤「パセトシン」のヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法(プロトンポンプ阻害薬、クラリスロマイシン又はメトロニダゾールとの3剤併用)に係る適応追加の承認を2月に取得しました。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、615億円(前年同期比7.1%増)となり、営業利益は45億円(同103.7%増)となりました。

(国内)

- ◎ 医薬・医療領域の売上高は前年同期を上回りました。
 - ・医薬・医療領域では、医薬用アミノ酸や核酸関連物質、その他の医薬品原薬等が堅調に推移しました。
 - ・トラネキサム酸は、出荷が集中した前年同期に比べて、売上高が減少しました。
- ◎ ヘルスケア領域の売上高は、飲料・食品用原料は前年同期を下回った一方で「オルニチン」をはじめとする通信販売事業は前年同期を上回りました。

(海外)

- ◎ 海外事業の売上高は、為替の円安進行もあり前年同期を上回りました。
 - ・米国では、サプリメント向けのアミノ酸の一部で競争激化のため前年同期を下回りましたが、全体の売上高は前年同期を上回りました。
 - ・欧州・アジアでは、工業用途のアミノ酸等一部品目で競争激化により前年同期を下回りましたが、輸液用アミノ酸が引き続き堅調に推移したため、全体の売上高は前年同期を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ119億円増加し、6,912億円となりました。
 - ・流動資産は、受取手形及び売掛金等の減少がありましたが、棚卸資産や短期貸付金等の増加により、前連結会計年度末に比べ15億円増加し、3,055億円となりました。
 - ・固定資産は、有形固定資産や販売権等の増加により、前連結会計年度末に比べ104億円増加し、3,857億円となりました。
- ◎ 負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ125億円減少し、1,109億円となりました。
- ◎ 純資産は、四半期純利益の計上に加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ244億円増加し、5,803億円となりました。
この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント上昇し、83.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月26日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,577	21,435
受取手形及び売掛金	101,556	92,007
商品及び製品	40,334	49,637
仕掛品	12,176	12,723
原材料及び貯蔵品	10,931	10,465
繰延税金資産	10,369	10,701
短期貸付金	98,194	101,134
その他	9,228	7,842
貸倒引当金	△381	△440
流動資産合計	303,988	305,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	134,875	130,788
減価償却累計額	△94,114	△90,362
建物及び構築物(純額)	40,760	40,426
機械装置及び運搬具	143,595	145,888
減価償却累計額	△124,200	△126,303
機械装置及び運搬具(純額)	19,395	19,584
土地	53,386	54,674
建設仮勘定	7,360	12,498
その他	48,166	47,371
減価償却累計額	△42,196	△41,095
その他(純額)	5,969	6,275
有形固定資産合計	126,872	133,459
無形固定資産		
のれん	168,850	163,761
販売権	36,214	45,221
その他	2,442	1,929
無形固定資産合計	207,506	210,912
投資その他の資産		
投資有価証券	23,654	24,012
繰延税金資産	7,724	6,434
その他	9,871	11,170
貸倒引当金	△276	△218
投資その他の資産合計	40,974	41,399
固定資産合計	375,353	385,771
資産合計	679,342	691,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,303	17,905
短期借入金	5,699	5,552
未払金	29,009	26,472
未払法人税等	15,777	11,235
売上割戻引当金	771	897
ポイント引当金	187	246
賞与引当金	241	4,057
その他	7,784	6,751
流動負債合計	85,774	73,116
固定負債		
繰延税金負債	11,262	11,461
退職給付引当金	19,503	19,095
役員退職慰労引当金	114	124
環境対策引当金	331	321
工場再編損失引当金	—	3,390
資産除去債務	383	383
その他	6,074	3,022
固定負債合計	37,668	37,799
負債合計	123,443	110,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,329	512,328
利益剰余金	48,127	59,134
自己株式	△26,538	△26,595
株主資本合計	560,663	571,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,264	1,097
為替換算調整勘定	△3,528	6,347
その他の包括利益累計額合計	△5,792	7,445
新株予約権	203	274
少数株主持分	823	1,030
純資産合計	555,898	580,362
負債純資産合計	679,342	691,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	244,691	252,103
売上原価	90,305	94,839
売上総利益	154,386	157,264
販売費及び一般管理費		
研究開発費	33,626	30,723
のれん償却額	9,127	8,648
その他	74,288	76,482
販売費及び一般管理費合計	117,043	115,854
営業利益	37,343	41,409
営業外収益		
受取利息	436	574
受取配当金	477	534
為替差益	106	654
デリバティブ評価益	—	568
その他	913	661
営業外収益合計	1,933	2,994
営業外費用		
支払利息	150	205
デリバティブ評価損	134	—
持分法による投資損失	4,643	3,590
固定資産処分損	631	502
その他	1,135	900
営業外費用合計	6,694	5,199
経常利益	32,581	39,203
特別利益		
関係会社株式売却益	—	3,217
固定資産売却益	—	1,065
投資有価証券売却益	—	673
特別利益合計	—	4,956
特別損失		
工場再編損失引当金繰入額	—	3,390
関係会社株式評価損	—	140
投資有価証券売却損	340	131
投資有価証券評価損	905	—
特別損失合計	1,246	3,661
税金等調整前四半期純利益	31,335	40,498
法人税等	15,847	17,107
少数株主損益調整前四半期純利益	15,488	23,391
少数株主利益	47	67
四半期純利益	15,440	23,323

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,488	23,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	934	3,361
為替換算調整勘定	1,921	10,015
持分法適用会社に対する持分相当額	4	—
その他の包括利益合計	2,860	13,377
四半期包括利益	18,348	36,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,293	36,561
少数株主に係る四半期包括利益	55	207

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

「II 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	191,718	60,385	252,103	—	252,103
セグメント間の内部売上高	1,063	1,200	2,264	△2,264	—
計	192,781	61,585	254,367	△2,264	252,103
セグメント利益	36,963	4,509	41,472	△63	41,409

注1. セグメント利益の調整額△63百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの関係会社管理区分を見直したことに伴い、従来「その他」セグメントに含まれていた関係会社を「医薬」セグメントに組み替え、「その他」セグメントを廃止しております。

なお、当該変更を反映した前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	188,498	56,193	244,691	—	244,691
セグメント間の内部売上高	990	1,295	2,285	△2,285	—
計	189,489	57,488	246,977	△2,285	244,691
セグメント利益	35,109	2,213	37,323	19	37,343

注1. セグメント利益の調整額19百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。